

2021年7月30日  
一般社団法人 Jミルク

## 主要国の酪農経済指標を比較し概観

### 「国際 Dairy レポート」IFCN 特別号発行

Jミルクは、酪農乳業の国際情報誌「国際 Dairy レポート」の特別号を発行しました。研究者や事業者らでつくる国際組織「国際酪農比較ネットワーク (IFCN)」(本部=ドイツ・キール) がまとめた「IFCN デーリーレポート 2020」を特集しています。デーリーレポート 2020 のうち、IFCN が独自に集計している国際乳価指数の推移についての分析のほか、日本も含めた主要国の生乳生産にかかるコストを飼料、労働力、土地といった要因ごとに比較・分析した内容などを中心に取り上げました。

国際乳価指数の推移については、1980年代以降、石油や飼料の価格の推移と類似した状況が続いていたものの、2017~19年にはそうした関係ははっきりとは見て取れなくなると分析。さらに、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大した20年4月は、原油先物価格だけが落ち込み、飼料価格と乳価は独立した動きを示したと指摘しています。とはいえ今後、石油、乳、飼料の価格が「似たような関係で推移していく可能性が完全になくなったとまでは現段階では言い切れない」としています。

生乳生産コストに関しては、飼料関連費(自家生産の場合の費用や土地の費用なども含む)の占める割合が高い国、中程度の国、低い国に分類。「高」には中東やエジプト、インドの一部や中国など、「中」には欧州や米国など、「低」には西欧の一部の国などがそれぞれ当てはまり、割合が低いところは、雇用労働や機械、建物、保険など高価格な要素が投入されていたり、放牧システムを採用したりしている、などと分析しています。



「国際 Dairy レポート」IFCN 特別号の概要は下記の通りです。

記

1. 体裁

28 ページ、カラー

## 2. 主な内容

- ・世界の乳価
- ・世界の石油・乳・飼料価格の推移（1981～2019 年）
- ・酪農経営の主な費用について
- ・世界最大級の酪農場を経営する企業 ほか

## 3. 監修

竹下広宣・名古屋大学大学院准教授

※特別号は J ミルクホームページ

([https://www.j-milk.jp/report/international/ifcn\\_special.html](https://www.j-milk.jp/report/international/ifcn_special.html))

からダウンロードできます。

以 上

**【本件に関するお問い合わせ先】**

一般社団法人 J ミルク

国際グループ

東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 お茶の水ユニオンビル 5 階

電話：03-5577-7495